

サークル・サークル

Vol.20

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介



八幡平 Olive.ヒップホップキッズ

メンバー29人(6月7日現在)
代表:鈴木 圭子=上野 駄=

◎結成何年目?結成のきっかけは?

平成29年1月に結成しました。

初めは、松尾コミュニティセンター(以下「松尾コミセン」)で毎年開かれている松尾コミセン祭りで、ダンスを披露するために練習していたのですが、年1回だけではなく「活動を続けていきたい」という声があり、坂本美南さんを講師にサークルとして活動をスタートしました。

◎活動の内容は?

練習を重ね、地域のお祭りやイベントで発表しています。

◎活動の効果・魅力は?

リズム感が身に付き、楽しみながら体力や体幹を鍛えることができます。



ベルフ八幡平のイベントで披露(6月23日)

ダンスは1人で踊っても楽しいですが、みんなで踊るのも魅力の一つです。コミュニケーションをとりながら、振り付けを合わせて踊ることで一体感を生み、協調性も養えます。また、新しくステップや振り付けなどを覚え、その成果を人前で披露した時の達成感は格別です。

◎今後の目標は?

ダンスに興味を持ってくれる子どもを増やし、サークルにたくさんの仲間をつくること。また、地域のイベントなどに参加し、子どもたちの活躍の場を広げていくことが目標です。

◎活動日・場所

毎月3回、木曜日に松尾コミセンで、クラスを2つに分けて練習しています。

- ▶小学2年まで 午後6時25分から7時25分まで
- ▶小学3年から中学まで 午後7時半から8時半まで

体験、見学はいつでも可能です。ぜひ、お問い合わせください。一緒に踊りましょう。

■問い合わせ先 松尾コミセン(☎76-3235)

八幡平ドラゴンアイ(鏡沼)を初めて現地で見したのは、今年の6月後半のことでした。この暖かな時期に防寒着を羽織り、雪の上を歩くという違和感を感じながら目的地へと向かいました。到着してみるとイメージとは程遠い光景が目の前に。雪解けが進み、穴々があらわになり、雪肌はポコポコ。完全に見頃は過ぎていました。しかし、その幻想的な光景には、やはり見るものがありました。エメラルドグリーンに輝く水、水深を感じさせる漆黒の穴、不規則な模様で形成される雪肌。「竜の目玉」というよりはまるで「竜のウロコ」のような。すかさず片手に携えていたカメラの



今月の担当
熊谷 拓朗 さん

地域
おこし
協力隊
だより
Vol.51

シャッターを切りました。市には、太古からの自然が数多く残存しており、さまざまな光景を目の当たりにできることは感概深いです。本市で学生時代を過ごしていた時は正直、無関心でしたが、この稀少な体験ができる環境にいるということを念頭に置き、今後も八幡平市の唯一無二の映像を記録に残していきたいです。

引き続き、広報動画「八幡平FAN」を制作していきます。パソコン・スマートフォンなどで見ることができしますので、ぜひ検索し、ご視聴ください。



ドローンで上空などから撮影